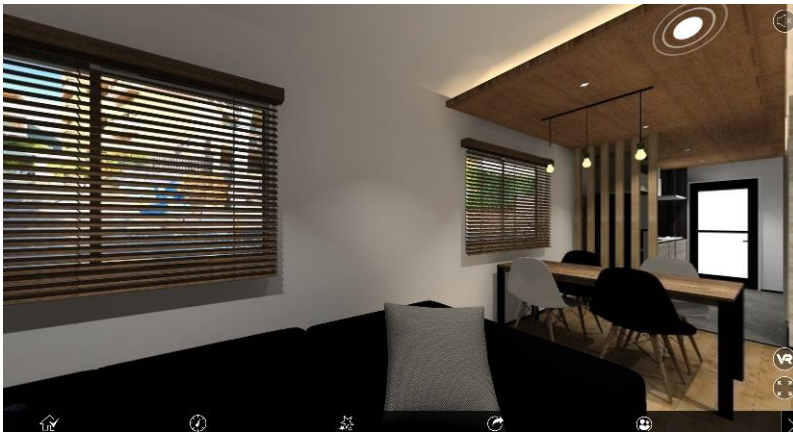


新機能 360度 VR「CUBE ALOOK」でバーチャルステージングも可能に 物件の企画立案、意匠設計から集客まで 空間トータルプロデュースサービス「CUBE」

野原住環境株式会社(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：入澤明彦)は、主にマンション賃貸などの不動産事業主やホテルなどの商業施設を手掛けるデベロッパーに向けた空間トータルプロデュースサービス「CUBE(キューブ)」にて、12月より新たに3Dパースでの360度VRの作成サービス「CUBE ALOOK(キューブアルク)」を始めます。これにより、「CUBE」では、空間の意匠設計・コーディネート機能をさらに強化するとともに、バーチャルホームステージング(※1)やバーチャル内覧等にて空間の視覚化を行うことにより、物件完成前に入居募集など、早期集客をサポートいたします。



■左：「CUBE ALOOK(キューブアルク)」での360度ビュー
右上：スマートフォンでの操作イメージ、右下：「CUBE」の3Dパース

「CUBE」は、空間のデザイン・インテリアスタイル・カラーコーディネート提案を含む意匠設計、3Dパースの作成による完成イメージの共有、コスト・納期・施工性を設計段階から考慮したサービス提供により、コストとデザイン性を両立した収益性の高い物件をともに創り出すことを目的としています。2017年11月のサービス開始時より、建築業界、建築資材を知り尽くしたプロ(工事もわかる商社)が提供する意匠設計サービスとして、不動産事業主様やデベロッパー様からの引き合いや受注が増えております。

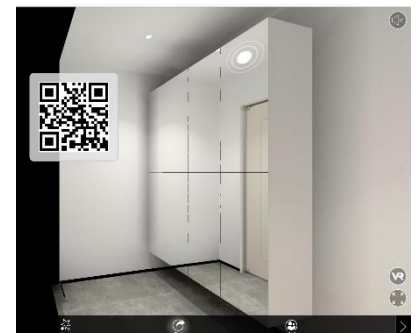
< CUBE ALOOK(キューブアルク)でできること >

■360度ビューができる3Dパースの提供

- ・予め設定したポイント間を、画面上でまるで実際に空間を歩いているかのように指一本で360度の空間確認ができます。
- ・スマートフォンのジャイロ機能にも対応しています。360度全方位で、見たい方向にスマートフォンをかざすと画面も同調表示されます。

■QRコード / URL 配信で手軽にイメージのシェアが可能

360度VRパースは、QRコードやURLにて配信することができるので、スマートフォンやPCで自由にシェア・拡散・掲載できます。



(※1)「ホームステージング」とは、売却する予定の物件に家具や小物でインテリアコーディネートを加え、モデルルームのように購入検討者により良い印象を与え、売却を円滑に促すためのサービスです。インテリアコーディネートとは違い物件の購買層を把握・意識し、ターゲットに向け「売れる物件」を演出します。米国では40年以上前からホームステージングの考え方が広まり、今では家を売却する人の多くが利用していると言われています。

■いつでもどこでもバーチャル内覧

スマートフォンと市販のVR（バーチャルリアリティ）メガネを使うことで、場所を選ばず、気になる物件のバーチャル内覧体験ができます。

■3D パース上に情報の埋め込みが可能

映像内の任意のポイントにメーカー商品情報やWEBサイトへのリンク等を埋め込むことができるので、3D パースを見た人を特定のサイトへ誘導することができます。

以上の特長から、マンションなどの不動産、ホテルなどの商業施設をはじめとする空間全般において、新築/オープン、リフォーム/改装にかかわらず、3D パースにて物件完成前から空間の視覚化イメージをサポートできるので、次のように、使い手に応じて、物件受注の後押しや入居募集や集客ツールとしてもお使いいただけます。

1.設計者及び設計をしている会社の営業担当の場合（物件オーナーと会話される方）

プレゼンボード+アルファとして「CUBE ALOOK(キューブアルク)」をお使いいただくことで、様々な角度から提案する空間を見せることができます。物件オーナーは具体的な空間イメージを描きやすくなるので、物件受注の後押しになります。

2.物件オーナー/不動産仲介業者/デベロッパーの場合

QRコードやURLをWEBや印刷物に掲載することで、360度ビューでのバーチャルホームステージングやバーチャル内覧が簡単に実現し、物件完成前からの入居募集/集客活動が可能になります。

住空間の場合、「CUBE」の3Dパースは、家具や観葉植物を含めてのトータルコーディネートができる為、入居希望者はインテリア配置や暮らしのイメージがわきやすくなります。

ホテルの場合は、全体コンセプトと客室のインテリアコーディネートを企画設計段階から完工前に3Dパースでイメージ確認できるので、統一感のある物件、内装・コンセプトの設計において他ホテルと差別化ができ集客できる物件をつくることのできるほか、建設中または改装中であっても集客活動ができます。

空間トータルプロデュースサービス「CUBE」の概要



「CUBE」は、付加価値を提案し、コストとデザイン性を両立した収益性の高い物件をともに創り出すことを目的としています。物件の企画立案から意匠設計、インテリアコーディネート、納材に加え、その先の入居募集や集客等のプロモーションまで一気通貫で提案いたします。

▼空間トータルプロデュースサービス「CUBE」公式サイト

<http://www.cube-nhr.com/>

空間企画
(コンセプト提案)

設計
(インテリア・家具・メーカー横断の建材選定)

建設工事
(工事会社のご紹介)

入居募集
集客活動

3D パース/CUBE ALOOK (360度 VR) による空間イメージの視覚化

「お客様に寄り添う、魅せる、ともにツクル」

私たちは、お客様からニーズと条件をヒアリングし、物件の真のターゲットは誰なのか、そこにリーチするコンセプトは何なのか、「ともにツクル」ことを大切にしています。また、女性目線でのトレンドや感性を反映することで物件の競争力を上げるアイデアに繋がるよう心がけています。

また、建築のわかる建材商社としての立位置から、デザイン性はもちろん、コスト、施工性、維持管理性、住みやすさ、全てのバランスがとれた空間をプロデュース。お客様の「ちょうど良い」を実現します。



■CUBEを手掛けるスタッフ

野原住環境株式会社について

野原住環境株式会社は野原グループのホールディングス化に伴い、2017年7月より野原産業株式会社住環境事業部から事業会社となりました。

野原住環境はこれまで、30年近くにわたり、全国において主に住宅会社向けに資材の販売を行ってきました。また、住宅の性能向上が求められる近年においては、ゼロエミッションを目標とした積算割付サービス「ピッタリでき太」や、外皮性能計算代行サービス「外皮計算.com」(<http://gaihikeisan.com/>)などの様々なサービスを展開し、住まいの資産価値向上と住生活環境の改善提案を行っています。

▼野原住環境株式会社 コーポレートサイト

<http://nle.nohara-inc.co.jp/>

野原ホールディングス株式会社について

創業42年の歴史をもつ野原グループは、これまで建設業界を中心に建材や鉄鋼関連およびセメントなどの建設資材、道路交通標識などの販売・施工を通して、事業を拡大するとともに、時代の変化に合わせた変革や創造を繰り返しながら成長してきました。

近年は、「Innovation」・「Digitalization」・「Globalization」をキーワードにユニークな事業の創出を目標に掲げております。東南アジアを中心とした海外展開をはじめ、プロ向け建材通販サイト「アウンワークス」や建設情報のデジタル化を目指す新会社「BIMobject Japan 株式会社」、グッドデザイン賞受賞商品のみを販売する国内初のデザインショップ「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」、特別な思いと時間をシェアする場所「レンタルキッチンスペース Patia」、新しい表現を模索する人たちのための、自由な発想に寄り添う壁紙「Wh0」など、新規事業を展開しています。



Link ideas. Build future.

思いをつなげ、未来をつくる。

▼野原ホールディングス株式会社 コーポレートサイト

<https://www.nohara-inc.co.jp>

【本リリースに関する問い合わせ先】

野原ホールディングス株式会社

社長室(担当：齋藤、中島)

e-mail : nhrpreso@nohara-inc.co.jp / TEL : 03-6328-1576

【本サービスに関するお問い合わせ】

野原住環境株式会社

本社営業統括部 営業二部二課(担当：石井梓、嶋崎あや)

e-mail : cube-nhr@nohara-inc.co.jp / TEL : 03-3355-4163